

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称	エリホン・LS混和液
会社名	エリホン・化成工業株式会社
住所	大分県大分市三川新町1-2-23
担当部門	技術開発部
電話番号	097-552-2251
FAX番号	097-552-6631
緊急時連絡先	技術開発部 電話番号097-552-2251
推奨用途	フィックスLS用混和液
使用上の制限	業務用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分2
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

上記で記載がないものは、「区分に該当しない」「分類できない」

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語
危険有害性情報

警告
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
環境への放出を避けること。

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。特別な処置が必要である。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察/手当てを受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学名又は一般名	アクリル系エマルジョン
化学特性(化学式など)	

成分名	含有量(%)	化学式	化審法 官報公示整理番号	CAS番号
共重合体	43.0~44.0	—	既存	非公開
ポリオキシエチレンノニルフェ ニルエーテル	1.7	—	既存	68412-54-4
アクリル酸ノルマルブチル	0.19	—	既存	141-32-2
水	54.0~55.0	H ₂ O	—	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。保温に努めること。医師の診察／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類や靴を全て脱ぐこと。多量の水と石けん又は微温湯で流しながら洗うこと。皮膚刺激、炎症又は発しんが生じた場合、直ちに医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 水で15分間注意深く洗うこと。医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 水で口をよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 炭酸ガス、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂、水、強化液
- 使ってはならない消火剤 特になし
- 特有の消火方法 消火活動は、原則風上から行う。
火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼のおそれが無いよう、水スプレーで周囲を冷却する。
- 消火作業を行う者の特別な保護具及び予防措置
消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。
状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
こぼれた場所は滑りやすいため、注意すること。
漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
河川や湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。
河川、湖沼へ流出した場合は、直ちに監督官庁(消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協)に連絡すること。
- 回収、中和などの浄化の方法及び機材
少量の場合は、布、紙ウエス、おが屑、砂などに吸収させて回収する。
多量に流出した場合は毛布、土嚢、土壘等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げる。
回収物や回収した洗浄水は「13. 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
漏えいを防止する。
水禁忌物質との接触を避ける。
 - 安全取扱注意事項 屋外又は換気のよい場所で使用すること。
スプレーミストや蒸気を発生させる作業の場合は、局所排気や全体排気を行うか保護マスクを着用する。
- 保管
 - 安全な保管条件 容器が破損しないよう、積み重ねる数などに注意する。
凍結(5℃以下)や高温(35℃以上)は避け、屋内で保管すること。
皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。
 - 安全な容器包装材料 元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度(安全衛生法・作業環境評価基準) 設定されていない
- 許容濃度
 - 日本産業衛生学会 2020年 設定されていない
 - ACGIH 2020年 設定されていない
- 設備対策 屋内作業の場合は、作業者が直接ばく露しない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とする。

スプレーミストや蒸気を発生させる作業の場合は、局所排気や全体排気を行うか保護マスクを着用する。
 取扱い場所の近くに安全シャワー、洗顔、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具 マスク
 状況に応じ、有機ガス用防毒マスク(アンモニア用)
 手の保護具 ゴム又は樹脂製の不透性の保護手袋
 眼及び／又は顔面の保護具 保護眼鏡、保護面
 皮膚及び身体の保護具 厚手の長袖、長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 水性液体
 色 乳白色
 臭い ほとんどなし
 融点／凝固点 約0℃以上
 沸点又は初留点及び沸点範囲 約100℃
 可燃性 情報なし
 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 情報なし
 引火点 情報なし
 自然発火点 情報なし
 分解温度 情報なし
 pH 8.0～9.0
 動粘性率 情報なし
 溶解度 水と任意の割合で混合可能
 n-オクタノール／水分配係数(log値) 情報なし
 蒸気圧 情報なし
 密度及び／又は相対密度 比重 1.04±0.02
 相対ガス密度 情報なし
 粒子特性 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 通常の条件では危険な反応は起こらない。
 化学的安定性 通常の取扱い条件下では安定である。
 危険有害反応可能性 通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
 避けるべき条件 水禁忌物質との接触を避ける。
 混触危険物質 水禁忌物質
 危険有害な分解生成物 情報なし

11. 有害性情報

製品有害性情報
 急性毒性(経口) 区分に該当しない
 混合物の急性毒性推定値は、2000mg/kg以上。
 急性毒性(経皮) 区分に該当しない
 混合物の急性毒性推定値は、2000mg/kg以上。
 急性毒性(吸入:ガス) 分類できない
 本製品は常温で液体のため分類対象外。
 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない
 急性毒性(吸入:粉じん／ミスト) 分類できない
 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない

皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない 混合物の皮膚腐食性区分2以上に該当する成分濃度は、1%未満。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない 混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	分類できない 混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感作性	区分1 混合物中の、皮膚感作性区分1Aに該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1に相当。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない 混合物の生殖細胞変異原性区分2以上に該当する成分濃度は、0.1%未満。
発がん性	区分に該当しない 混合物の発がん性区分2以上に該当する成分濃度は、0.1%未満。
生殖毒性	区分2 混合物の生殖毒性区分2に該当する成分濃度が3.0%以上あるため、区分2に相当。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない 混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない 混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)データが不十分のため、分類できない。
誤えん有害性	分類できない 混合物の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。
その他の情報	皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。 蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。
成分有害性情報	
アクリル酸ノルマルブチル	
急性毒性	LD ₅₀ (ラット)=4349mg/kg

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分3 混合物の水生環境有害性 短期(急性)区分3に相当する成分濃度が25%以上あるため、区分3に相当。
水生環境有害性 長期(慢性)	区分3 混合物の水生環境有害性 長期(慢性)区分3に相当する成分濃度が25%以上あるため、区分3に相当。
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関連法令を遵守して適正に処理する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	非該当

容器等級 非該当
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実にこなうこと。

15. 適用法令

化管法

法第2条第2項 施行令第1条別表1 第1種指定化学物質

政令番号 1-462 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)

労働安全衛生法

第57条 表示対象物 該当しない

第57条の2 通知対象物

労働安全衛生法施行令別表9 4 アクリル酸ノルマルブチル

第57条の3 リスクアセスメントを実施すべき危険有害物

労働安全衛生法施行令別表9 4 アクリル酸ノルマルブチル

労働安全衛生規則第577条の2 がん原性物質

該当しない

労働安全衛生規則第594条の2 皮膚等障害化学物質等

皮膚刺激性有害物質

該当しない

皮膚吸収性有害物質

該当しない

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

その他の適用される国内法令の名称及びその国内法令に基づく規制に関する情報

化審法

法第8条第1項第3号 一般化学物質

化審法整理番号 7-172 ポリオキシアリキレン(C=2~4, 8)モノ[アルキル又はアルケニル(C=1~18)フェニル]エーテル(n=1~150)(別名ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル)

化審法整理番号 2-989 アクリル酸n-ブチル

消防法

非危険物

16. その他の情報

このデータシートは、製品を適正に取扱っていただくために必要なもので、現時点で弊社の有する情報を取扱い事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改定されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い用途、用法等の、実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

参考文献

製造会社発行安全データシート

安全衛生情報センター(化学物質情報)

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学物質の分類方法」